

## 英語の発表の準備は万全ですか？ ～コツを伝授しよう（僕にはできませんが・・・）～

自分の発表だけでなく、他の人の発表を聞くのも緊張しますよね（少なくとも中道はものすごく緊張します）。「聞き取れなかったらどうしよう」と不安になるかもしれませんが、実は「聞く側の姿勢」が発表者のパフォーマンスを左右し、結果として聞く側も聞きやすくなることがあります。お互いに気持ちよく、かつ内容をしっかり理解するためのコツを Gemini 先生にまとめてもらいました（一部は中道の経験から）。

\*\*\*\*\*

### 【「耳」の前に「目」で準備する】

いきなり英語を聞き取ろうとするのは至難の業です。発表が始まる前の数秒～数十秒で準備をしましょう。

#### ・タイトルと図表を先に確認する！

発表者が話し始める前に、ポスターのタイトルと一番目立つグラフ（結果）をパッと見ます。「あ、これは〇〇についての実験だな」という予測するだけで、英語の聞き取りやすさは倍増します。

#### ・キーワードを探す

ポスターに書いてある専門用語を先に目で追っておくと、その単語が耳に入ってきたときに「あ、今の単語だ！」とピンときやすくなります。

### 【上手な「聞き手」になる→リアクション】

あなたが「良い聞き手」でいると、発表者はリラックスして話しやすくなり、結果として英語が聞き取りやすくなるという好循環が生まれます。

#### ・「大げさなくらい」うなづく

英語圏のコミュニケーションでは、日本以上に「聞いているよ！」というサインが重要です。相手が区切りを置いたところで、しっかりうなづくてください。

#### ・「あいづち」を英語で打ってみる

I see. (なるほど)

Okay. (はい)

Interesting! (おもしろいですね！)

これだけで、発表者は「伝わっているんだ」と安心して、より丁寧に話してくれるようになります。

### 【全部の単語を聞こうとしない】

一言一句を完璧に理解しようとする、知らない単語が1つ出た瞬間に思考が止まってしまう。

#### ・「名詞」と「動詞」だけを拾う

「A が B に変化した」「C という物質を使った」という核となる部分だけを集中して聞きます。冠詞 (a, the) や細かい時制は無視して OK です。

#### ・図表と照らし合わせる

発表者がポスターを指差しているときはチャンスです。「今、このグラフのことを言っているんだな」と視覚情報とリンクさせて理解しましょう。

### 【質問を「1つ」だけ用意する】

受け身で聞くよりも、「何か1つ質問しよう」と思って聞く方が、脳の理解モードが活性化します。難しい質問でなくて大丈夫です。（これは日本語の発表でも同様だよ！）

#### ・「感想+シンプルな質問」の型

Nice presentation! (良い発表でした！)

I have one question. Why did you choose this method?

(質問があります。なぜこの方法を選んだのですか？)

What was the most difficult part? (一番大変だったところはどこですか？)

#### ・もし聞き取れなかったときは…

全く聞き取れなかったとしても、気にすることはありません。専門用語が難しかったりすることもあります。そんなときは、こう言ってみてください。

"Could you explain this part again, please?" (この部分をもう一度説明してもらえますか？)

これを言うことは失礼ではなく、むしろ「あなたの研究を正しく理解したい」という敬意の表れです。



## 【相手の発表を褒めるバリエーション】

「Nice」「Great」も良いですが、「何が」良かったのかを一言添えると、グッとプロっぽくなります。

| 表現                     | ニュアンス・使いどころ         |
|------------------------|---------------------|
| That was very clear.   | 説明が分かりやすかったとき。      |
| Interesting approach!  | 研究の手法や視点が面白いと思ったとき。 |
| Impressive data.       | 実験結果やグラフがすごかったとき。   |
| Well-organized poster. | ポスターの構成が見やすかったとき。   |
| Insightful research.   | 鋭い視点の研究だ、と敬意を払うとき。  |

## 【質問するときに使えるフレーズ集】

質問のハードルを下げるために、まずは「型」を覚えてしまいましょう。

### ・基本の型

- "I have a question about [点]." (～について質問があります)
  - ...about the method. (手法について)
  - ...about this graph. (このグラフについて)

### ・具体的な質問例：

- "Why did you focus on this point?" (なぜこの点に注目したのですか?)
- "What was the most difficult part of your experiment?" (実験で一番大変だったところはどこですか?)
- "Do you have any plans for future research?" (今後の研究の予定はありますか? ※締めめの質問に最適!)
- "What does this term mean?" (この用語はどういう意味ですか? ※素直に聞いて OK!)

## 【英語で質問された時の「聞き返し方」】

相手の質問が聞き取れないのは「英語力のせい」だけではありません。会場がうるさかったり、とさまざまな原因があります。堂々と聞き返しても失礼ではありません。わからないままの方がよっぽど失礼です

### ・「もう一回言って」のバリエーション

- "Could you say that again, please?" (もう一度言っていただけますか? ※一番標準的)
- "Sorry, I didn't catch that." (すみません、聞き取れませんでした)

### ・「理解を確認する」テクニック (これが一番大事!)

- 聞き取れた単語だけで「こういうことかな?」と推測して確認します。
  - "Are you asking about [単語]?" ([単語]について聞いていますか?)
  - "Do you mean this graph?" (このグラフのことですか?)

### ・どうしても分からない時の最終手段

- "Could you write down the keyword?" (キーワードを書いてもらえますか?)  
ポスターの余白やメモ帳に単語を書いてもらえば、一発で解決します! 理系同士、筆談は最強のコミュニケーションです。

## 【最後に】

発表会当日、もし余裕があれば「Yes/No」だけで終わらせないように意識してみてください。

質問されたら: "Yes, because..." (はい、なぜなら...)

褒められたら: "Thank you! I'm glad to hear that." (ありがとう! そう言ってもらえて嬉しいです)

これだけで、立派な「英語での学术交流」になります。

\*\*\*\*\*

今日は聞く側、明日は発表する側と聞く側です。準備は OK ですか?

## 一番大切なことは

## 「発表者や聞き手に対するリスペクト」です!

- ・時間は守る。時間制限がない場合でもポスターなら5分程度で、主張したいことを端的に!
- ・相手を見て説明する (原稿ばかりを見ない)
- ・必ず1つは質問するつもりで聞く
- ・質問は今後の研究に繋がります! 必ずメモを! (スマホでメモは禁止) 図示したり、略語を使ったり...、工夫して!
- ・失敗しても「しまった」という顔をしない (聞き手に失礼です)
- ・発表者や質問者が失敗しても嫌な顔をしない (自分だってするかも)
- ・質問とあら探しは違います! ただし、不思議に思ったことを素直に聞くのは OK。
- ・質問に対して「わからないことはわからない」と言えることが誠実です! (でも参考にしたいと言うことは伝えてね)

## では頑張ろう!

